

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童発達支援 どんぐり 交野店		
○保護者評価実施期間	2025年 3月15 日 ~ 2025年 3月31 日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	1	(回答者数) 1
○従業者評価実施期間	2025年 2月 23日 ~ 2025年 3月 11日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	10	(回答者数) 10
○事業者向け自己評価表作成日	2025年4 月15 日		

○分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	一人一人の発達段階に合わせた個別支援計画書の作成・実施	児童と児童との関りを大切にしている。 トラブルになることがあっても、自分たちで解決できるように 介入の仕方を工夫している	多様なプログラムの提供
2	各家庭、保護者との面談を重視し連携に努めている	地域の公園へ出向くなど、地域の子どもと交流する機会を設けている	災害時の対応を充実させる
3	経験豊富なスタッフが在籍し、子どもに寄り添い、ともに成長を喜ぶ姿勢		地域資源を活用するために情報収集

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	リハビリ専門職が不在な為、保護者からのニーズに合わせた支援を提供することが難しい	保護者・利用児童、それぞれのニーズに合わせたプログラムを設定し実施することが難しい	外部（学校・保育園・関係機関）との連携の強化
2	専門スタッフの配置に限りがある		他機関との勉強会の参加など、外への発信を増やしていくたい
3			

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名	児童発達支援 どんぐり 交野店	公表日	2025年5月7日					
							利用児童数	回収数 1
		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	1	子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	1					
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	1					
	3	生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。				1		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	1					
適切な支援の提供	5	子どものことを十分に理解し、子どもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	1					
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	1					
	7	子どものことを十分理解し、子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	1					
	8	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	1					
	9	児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	1					
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	1					
	11	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他の子どもと活動する機会がありますか。				1		
	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	1					
13	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	1						
14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。				1			
15	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	1						
16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	1						
17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	1						
18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。				1			

	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	1					
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	1					
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。				1		
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	1					
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。				1		
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。				1		
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	1					
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	1					
満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	1			いつも楽しみにしています。沢山遊んで頂いて先生たちも良くしてくれると、帰ってからも沢山は話をしてくれます。	ありがとうございます。これからも安心して利用いただけるように努めます。	
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	1			お友達とケンカをしてもきちんと見守り指導してくださっていると感じます。ありがとうございました。	人と人との関わりを大切にします	小学校に入って、友だちがたくさんできるといいですね
	29	事業所の支援に満足していますか。	1					

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		事業所における自己評価結果			
		公表日 2025年 5月 7日			
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	10		その日の利用メンバーによって、使用する施設を考慮している。	
	2 利用定員や子どもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	10		利用者の理由で利用人数が減っても、職員配置を維持している。	
	3 生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	9	1	小さな児童が安全に移動できるように側で声掛けで介助している。荷物のカゴを置き、荷物の置き場所を決めている。	
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか。	10			
	5 必要に応じて、子どもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	10			
業務改善	6 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	9	1	スタッフミーティングで話し合っている。モニタリングをスタッフ全員で利用者一人ひとり書いている。	
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	10		評価表を作成し、口頭で伝える。	
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	9	1	スタッフミーティングを行っている。ミーティングなどで意見交換ができるようになっている。	
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	4	5	気づきに繋がり、参考になる。	外部評価を行っていない
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	7	3		管轄の障害福祉課からの研修動画を周知するなど、今後も継続して資質を高める工夫を行う
適切な支援の提	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	8	2	作成し、公表します。	2025.4にホームページにて公表済み
	12 個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	10			
	13 児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	9	1	スタッフ全員で計画案を作成し、よりよい目標を立てている。ミーティングでの情報共有を行っている。	
	14 児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	9	1	サービス提供前に各児童の計画を確認するようにしている。出来上がった支援計画書の確認や記録記入時に確認できるようになっている。	
	15 子どもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	8	1		
	16 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	8	1	小学校入学など、将来を見据えて、保護者と相談し、案を提示している。	
	17 活動プログラムの立案をチームで行っているか。	6	3	モニタリングをスタッフ全員で記入している。	

供 應 機 関	18 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	8	1	適宜「今日は○○してみよう」という取り組みがある。	これからも、個々の特性・拘りに配慮してマンネリ化しないように工夫します
	19 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	9			
	20 支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	7	2	介助、送迎、支援と固定化しないよう工夫している。必要な連絡は共有している。	特に時間を決めたり、毎日欠かさず集まるようなことはしていない 臨機応変な対応を心掛けている
	21 支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	7	2	送迎後や記録記入時に共有している。1人1人に合った支援を記録できている。	出勤時や送迎後に質問や提案をする機会を設け、気軽に相談できる職場を心がけます
	22 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	9		利用毎に経過表を記入している。必ず誰かが記入している。	
	23 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	8	1	スタッフ全員でモニタリング用紙を記入している。	
	24 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、その子どもの状況をよく理解した者が参画しているか。	9		児発管が参画している。	
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	25 地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	8	1	保育園、発達支援センターと連携している。	
	26 併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	7	2	情報共有、意見交換を図っている。	
	27 就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	8		就学シートの作成を行っている。	
	(28~30は、センターのみ回答)				
	28 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29 質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30 (自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	(31は、事業所のみ回答)				
	31 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	6		市の連絡会でSVに参画してもらい、事例検討を行っている。	ネットワークの拡充や他機関との勉強会に参加するなど、外への発信を増やしていきたい
	32 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他の子どもと活動する機会があるか。	6	4	施設近くの公園に出向き、交流をしている。	
児 童 発 達 支 援 機 関	33 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	9	1	連絡帳やlineで情報交換を行っている	
	34 家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	7	3		
	35 運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	10		契約時に説明している。	
	36 児童発達支援計画を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	10			

保護者への説明等	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	10		確認後、捺印してもらっている。	
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	10		LINEで相談できるようにしている。	
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	6	3	保護者会の開催	
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	10		適切に対応している	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	6	3		不定期ではあるが、ホームページは更新している
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	10			
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	10		分かりやすい言葉だけではなく、身振り、手振り、筆談などをしている。	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	3	7	外出時、挨拶等はしている。	イベントのような形で地域と関わることは予定していない。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	6	4	職員への周知はできている。	訓練は出来ていない。家族への周知は弱い。
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	4	5		訓練は出来ていない。定期的にはできていない。
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	10		薬を預かり、処方箋を保管している。	計画更新時の面談時に、児童の健康状態等を再確認する。
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	10		保護者に確認の上、提供している。	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	8	2	安全には十分配慮している。必要な安全管理はされている。	安全計画やマニュアルは法人で作成している。スタッフに周知できていないので早急に周知する
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	7	3		安全計画を各家庭と共有できるように検討します。
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	9		写真付きで作成し、周知している	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	8	1	研修を行っている	
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	6	3	契約時に説明している。できていると思う。	スタッフには、入社時に研修し周知している。保護者に対しては、定期的な面談時に説明をするように心掛ける。